

16/10/24 名古屋市議会経済水道委員会 要旨（名古屋市民オンブズマン作成）

局長：説明

総務課長：説明

田辺：6月定例会で説明を求めた

名古屋城 団体予約が入っている

天守閣に団体予約はあるのか

管理課長：天守閣の予約はない

田辺：名古屋城全体はどうか

管理課長：代理店で旅行商品を買って、それで来ることはある

田辺：予約はあるのか 実態はどうか

管理課長：名古屋城で承ることはない

客が商品を買うことはある

田辺：市長が言ったのは旅行予約のことか。理解した。

I S 値 0.14 市長「相当危ない」

第三次診断法 第二次診断法 いつ明らかになったのか

主幹：平成22年の診断

田辺：それぞれ数字が出る。どのように理解すればよいか

主幹：第三次診断法を実施していく

あわせて二次診断を行う

専門家の意見を受けて耐震改修を行う

改修していくという側面からは第三次診断法で

田辺：二次診断は無視してよいのか

主幹：そうではなく専門家が判断する

田辺：河村市長「0.14 だから危ない」と専門家の意見は同じか違うか

主幹：総合的に考える 評価としては 0.14

田辺：正しい答えは何か

耐震性判断はどうか 市長の発言は違うのか

所長：第三次診断まで行う 0.14

地震に対する強さをはかりながら解決策を考える

学識経験者に聞いた 「0.14 は低い、建物の特徴 第二次診断が 0.28 差がある

柱が強い 総合的に見て判断するのがよい」

市長の認識と違うということはないが、入場禁止するかどうかは二次診断も踏まえて

田辺：第二次診断も重い。

市長はど素人の市長なりの危機感で述べた

実態は複雑

市民がいたずらに誤解をする
市民に伝わる認識が違う 誤解
どう説明するのか

局長：第二次診断について市長に説明した 学識経験者にも知らせた
市として0.14で扱ってきた
入場禁止していくことを具体的に検討したところこういった数字が出てきた
市長の思いとしては「入場禁止がやむを得ないと判断すればやる」

田辺：閉じられたところで議論したからこうなった
有識者からどのように市長に発言したのか
口から出たものは戻らない
「名古屋城は危ない、地震が来たらつぶれる」誤解が広がっている
クローズでやったの？

管理課長：ヒアリングは私たちがお邪魔して伺った

田辺：オープンでやってほしい
正しいことが市民に伝わらない
正しいことを市長が聞いても違ったことを言っていることもわからない
危機的な状況

所長：今後検討をしていきたい

田辺：情報は力。市民が身を守る力。
正しい情報が伝われば市民は行動する。
有識者意見「当面は安全確保を考えると、旅行会社の周知時間を確保した上で、
やむを得ず天守閣入場を禁止することが適切」
緊急性を感じられない。

管理課長：統一の意見

個別の意見 直ちに耐震改修か、その他の方法をとらないといけない
田辺：公開でやらないと意味がない
緊急の人も、異議を唱えなかったのか

管理課長：ヒアリング たくさんの意見を集約して、対応方法 ソフト面の運用か入場禁止か

結果として多数の人が統一意見
田辺：緊急を要しない 理解でよいか
所長：意見を伺って2択 その他の意見も
ご主旨が示されたようだ

田辺：入場禁止は一致 緊急性はばらけた
緊急度は書いていない 判断は設置者がすべき でよいか

所長：先生のご指摘の通り

田辺：7階耐震性が低い 耐震工事をするかも市が判断

スケジュール感はどうか

管理課長：有識者に聞く必要がある

どういう工法か至急調査

田辺：それはスケジュール感ではない 決意表明

市長のおっしゃりよう これを境に変わってこないといけない

入場禁止をいつするか判断は重要

いつごろ目標かは今日持ってきているはずだ

西野：その通り。鉄骨プレスの提案 調査にどれくらい時間がかかるか分かっていない

明確なことがお答えできない 年内にもしたい

田辺：これを持って総合的な判断 0.14のみではなく 0.28 柱・壁の強度と靱性

0.14だけ言っていたら偏っている

局長：委員おっしゃるとおり 市長に伝える

木下：全庁会議とはなにか

主幹：耐震診断 2-2 話し合う会議 局長が集まって話す

木下：利用者 安全確保が第一

木造復元検討中なので、

有識者意見 意見が分かれている

補強すれば安全になると書いてある

実際の名古屋城 震度6強で危険なのか

主幹：それぞれ総合的判断をしていく

木下：第二次診断法 柱と壁を参考 非常に強い

第三次診断法 梁を強くすればよいということか

主幹：総合的判断

建物が持つ特性により判断

木下：梁を強くすれば値が変わってくるのか

主幹：柱・壁を入れながら建物自体を強くする

建物の柱の補強、壁の補強 総合的に判断

木下：梁を強くすれば値が変わってくるのか

主幹：委員ご指摘の通りだが、梁を強くしなくても柱を強くする、という方法がある

木下：木造化を前提に進めている

現在継続審議 耐震化するという事ではない

その間安全に進めるためどこをどうすればよいか

所長：委員ご指摘の通り

木下：「有識者の意見 さらに聞く必要がある」

当局として時間がほしいということか

所長：その通り

木下：スケジュールは？

所長：鉄骨プレスの補強策について情報を持っていない

塚本：ソフト面 地震 「倒壊又は崩壊」

震度6強 何が起こるのか

主幹：IS値 CTSD値 該当するところ

0.14 0.07 国土交通省「倒壊又は崩壊」

建物がそのままぐしゃっとつぶれ方をすることは考えにくい

塚本：木造2階 地震1階がつぶれて2階が残ることがある

7階の耐震性 7階部分だけがつぶれることが考えにくい

管理課長：具体的なシミュレーションは持ち合わせていない

最上階がつぶれる可能性が高いとまでは言えない

天守閣全体がつぶれることはないだろう

塚本：警備員配置 各階で滞留人員 何名いるのか

管理課長：人数は手元にない

塚本：全庁会議 入場制限を検討する

さらにすすめて入場禁止

当初「入場制限」思いと、「入場禁止」 どういうことか

管理課長：「入場制限」「入場禁止」ことさら違って使っていない

塚本：ソフト面とは何か

管理課長：ハード的なものではない、運用面

具体的には安全なところに誘導する

塚本：「天守閣にそもそも入れない」

7階に入らないで、ということもあるのか

管理課長：禁止の区域は検討課題

7階だけ入場禁止は難しいのではないか

塚本：博物館のようになっている。

7階に上がらなければ名古屋城ではない、という訳ではない

足が悪い方 7階に上がらない方がいるかもしれない

同時に入れる人を制限することも

有識者が「入場制限」をあげていないのはなぜか

管理課長：いけないということになれば入場禁止

他の方法なら入れる

部分までに何人までかは考えるのが困難

塚本：「他人任せ」把握していない

シミュレーション どのように倒壊・崩壊するのか分かっていない

各階に何人いるのかも把握していない

一切入場制限をかけるという話になっている

名古屋城 危険性があることは分かる

あまりにも乱暴な議論が進んでいる

鉄骨プレスをすればよい

倒壊のシミュレーションがあつて、それを防ぐには、という話

有識者の人 どういう意見か分からない

様々な取り組みがあるはず

中川：人の命に関わること 緊急性があれば今日にでも入場禁止に

有識者は有識者

最終的には市長の判断

みなさんは判断材料を提供していく

当局はこれまでの資料 どういう見解か

入場制限、入場禁止をすべきと考えているか

所長：I S 値 0.14 震度 6 強で倒壊・崩壊可能性が高い

低い階がつぶれると他の階にも影響がある

危なければ入場を止める必要がある

本当に危険なのか？ 情報を集めて市長と相談して判断する

中川：当局としての考えを持つべき

当局はどう認識しているのか

どうも当局だけの判断 入場制限・入場禁止をするまでもない、と聞こえるが

所長：申し訳ないが十分な情報がない

現時点では判断できない

中川：局長、そういうことか

局長：今一度有識者の意見を聞きたい 判断できる状況ではない

中川：「有識者の意見を聞く」どの当たりの人か

さらに聞くとはい、これ以外のことか

だれに何を聞かないといけないのか

所長：耐震構造に詳しい人、考えたい

鉄骨プレスがどうか

中川：局長、人命を守る観点から、そんなに悠長でよいのか

見解は分かれるのではないか

決めるのは当局、政治的判断

これ以上聞く必要があるのか

あるとすればなにか

人命なので旅行会社と相談することではない

局長：いまにも崩れるのであれば入場禁止

しかしながら学識でも意見が分かれる

我々でも当局として閉める 今すぐという判断はできない

背景には影響力がある観光施設

関係業者の影響

若干の時間もかかる

一日でも早い結論を出すのが使命

中川：最終的には政治的判断

課題をクリアしていくこと 早いほうがよい

判断は速いほうがよい

いつくらいまでに その辺はクリアにしてもらわないと

局長：事務的には年内に

今般の指摘を踏まえて早急に結論出したい 市長と相談

中川：名古屋城の他に 2-2 該当する公の施設 他はないのか

主幹：市営住宅を含め 50 施設

中川：観光施設も入っているのか

主幹：公設市場、名古屋城、市営住宅、保育園

中川：最も悪いのは公表できるか

主幹：全庁会議 記者に公表した

一番悪い 市営住宅、中公設 0.10

中川：5つ

主幹：2番目が名古屋城 0.14

市営住宅 0.15

梅森

市営住宅

中川：保育園は

主幹：市営住宅+保育園

中川：人命を守る 入場禁止

この施設は入場禁止、この施設はよい、という風にはならない

当局としてどう思うか

2-2に該当するところは客観的基準がいる

所長：全体は全庁会議 今後耐震改修を速やかに進める

施設ごとに方向性

決定する場合 全庁会議に諮って決める

中川：名古屋城 2 番目に危険 1 番危険なところ 名古屋城より先にやらないといけないのでは

主幹：中公設市場 閉鎖 ある程度方向性を決まっていると聞いている

中川：耐震 整合性

鎌倉：全庁的な 観光文化交流局で判断できるのか

入場制限 一番の目的は命を守る

名古屋市内施設 防災危機管理局がとりまとめるべきでは

人の命を守る 最悪の状況を想定すべき

主幹：防災危機管理局が頭になりとりまとめ

まずは様々な意見を聞いて判断

二次診断、三次診断を総合的に判断したい

鎌倉：観光企業に勤めていたことがある

名古屋城天守閣 封鎖をすればダメージになる

所長：安全を守りながら天守閣を体感できるか検討したい

江上：耐震 市長 6 月 1 4 日の説明「すぐにでも封鎖しないと危険」市長の発言の軽さ

これ自体責任のいい加減さ

「木造復元を検討中」前提

私は耐震改修でよい

急ぐべきではない さしあたりどうするか

今日の時点では鉄骨プレス 至急考えてやるという決断があってもよいが、なぜないのか

管理課長：有識者の意見があるなかで、他の有識者の意見も伺って、

鉄骨プレスも調べる

江上：調査費用はどうなるか

管理課長：すぐにでもやりたいので至急やりたい

江上：耐震問題 平成 9 年に始まっている 2 2 年度の調査と変わらない

どういう判断でほかっておいたのか

何だったのか

管理課長：阪神大震災を契機として全庁調査した

結果公表している 耐震改修をやっていききたい

本市の全体の方針の中で防災拠点 耐震改修を優先的になされてきた

江上：平成 2 2 年度とほとんど変わらないのではないかと

管理課長：平成 8 年 0.13

江上：平成9年度の段階であってもおかしくない

なんで判断なされなかったのか不思議

所長：耐震診断のとらえ方 あくまでも耐震性を強くする対策をやっていく

優先順位を持ちながら対応した

江上：少なくともどういう対応をすべきか

鉄骨ブレス 出ていたのか

過去調査もしてこなかったのか

管理課長：8年度の後、12年度に市全体の診断が終わった

名古屋城 全体にどうすべきか その当時明確ではなかった

平成18年度 全体整備計画 方針として耐震改修をいったん決定している

江上：具体的にどうするか

平成22年をもとに 24年に全体整備計画出している

管理課長：平成22年度調査

23年：石垣

24年 木造と耐震の比較検討

江上：全体整備計画を聞いている

耐震化という方針に変わりないのではないか

整備室長：24年 耐震改修としている

江上：どんな形でやるか考えていないといけないでしょう。

担当部局として考えてなかったのか

所長：耐震化 22年度調査 I S値0.6を超えるにするか 29億円

耐震改修については検討した

江上：そのことではなく、さしあたり耐震化

鉄骨ブレス等

当時から考えていてもよい

やはり難しかったのか

所長：あくまでも0.6を超える改修

簡易なものは考えていなかった

そういう方法も有効ではないかという提案があった

江上：日常的に人が来る

いい加減なことではいけない

所長：基本的にそれ以外の耐震補強策は検討していなかった

江上：市長「明日にでもダメ」

平成9年、平成22年 耐震化という方針を出した

来る方は納得できない

鉄骨ブレスを入れて議論の時間を作ってはどうか

管理課長：鉄骨ブレスについて調査したい

中川：悩んでいるのは当局であって、市長は決まっているのではないか

ある一定なにかしたいのではないか

所長：市長としては危険で入場禁止と判断した場合入場禁止する

判断には至っていない

中川：局長、そうなのか

判断をしきれていないのか

意向がないのに

当局が悩んでいて、補正予算を組むのか？ 11月なのか？ 随意契約か入札か？

当局が悩んでいるのか市長が決めるのか

市長が応援するスタンスでもよいのでは

局長：当局が悩んでいるということ

判断材料をお渡しする いろんな所から意見を聞く

市長 以前より入場禁止という言葉を出している

市長と議論した 我々としてしっかり判断してもらえるような資料

(補正については) 早急にやっていく 事務的にやっていく

丹羽：他都市で2-2で運営しているところがあるのか

管理課長：例えば小田原城 耐震改修は終わっている IS値 0.29

丹羽：その間はオープンしていたのか

管理課長：工事に合わせて入場禁止

丹羽：市民 人命尊重なら方針持たないと

藤沢：最後 市長は「責任を持って判断する」言っているのだろうか

局長：責任を持って判断するものと理解

藤沢：言っていないということか

局長：保留をお願いしている

藤沢：そうなのに6月に述べたのか

局長：今回入場禁止に当たって学識経験者に聞いたら6月とは認識が変わる

藤沢：責任を持って判断してもらいたい